



アセスメントとケアが変わる 褥瘡エコー診断入門

著：水原章浩，富田則明，浦田克美／医学書院
定価：3,990 円(本体 3,800 円＋税)／TEL：03-3817-5657

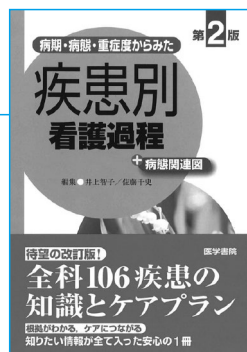
■エコー機器が小型化・高性能化するなか，DTI (deep tissue injury)，ポケットの正確な評価など，褥瘡診療の分野でのエコーの活用に注目が集まっている。先進的に褥瘡エコー診断を行っている著者らが，褥瘡の内部までを「見る」手段としてのエコーの有用性を説く。カラー写真を多用し，事例と実践のノウハウをわかりやすく紹介。「本邦初の，褥瘡エコー診断実践書！」。

病期・病態・重症度からみた

疾患別看護過程＋病態関連図 第2版

編：井上智子・佐藤千史／医学書院
定価：7,350 円(本体 7,000 円＋税)／TEL：03-3817-5657

■全科 106 疾患について，医学解説における情報をアップデート。看護診断ラベルを更新し，新たに「看護診断名索引」を設けた。疾患をわかりやすくワンポイントで解説し，看護過程は，アセスメント・看護過程の明確化・計画・実施・評価とフローチャートによりステップごとに展開される。患者の全体像がみえる病態関連図が添えられて，ほしい情報がすべて揃ったオールインワンの 1 冊。



ウエルネスからみた

母性看護過程＋病態関連図 第2版

編：佐世正勝・石村由利子／医学書院
定価：3,990 円(本体 3,800 円＋税)／TEL：03-3817-5657

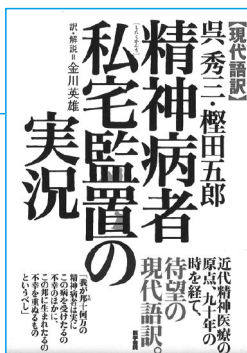
■初版から 3 年，ほぼ全項目の情報を刷新，新たに「産科に必要な薬の知識」「妊娠中の主な禁忌薬」を付録に加えた。本文は，妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期ごとに，「正常経過とアセスメント」「異常とケア」の 2 部構成で，正常経過における，ウエルネスの視点からみた看護診断リストを新たに収載。妊娠・出産に特有の病態生理から臨床までをイラストや図表をふんだんに使って解説する。

【現代語訳】呉秀三・樫田五郎

精神病患者私宅監置の実況

訳・解説：金川英雄／医学書院
定価：2,940 円(本体 2,800 円＋税)／TEL：03-3817-5657

■原本は，1918 年にまとめられた私宅監置(＝座敷牢)についての調査報告書。『東京医学雑誌』の記事「精神病患者私宅監置ノ実況及び其統計的觀察」，呉秀三による同名の冊子とその複製版を基にした丁寧な作業の賜物である。当時の調査自体の困難さも偲ばれるが，淡々とした記録から，「この邦に生まれたるの不幸を重ねる」(帯より)患者と，その家族，社会の実態が浮かび上がる。





バリアフリー・コンフリクト

争われる身体と共生のゆくえ

編：中邑賢龍・福島智／東京大学出版会

定価：3,045 円(本体 2,900 円＋税)／TEL：03-3811-8814

■バリアフリー化とは、人が過ごしやすい環境を提供することであり、一般的に“善いこと”とイメージされる。翻って本書は、バリアフリー化によって生み出される衝突や対立(＝コンフリクト)に焦点を当て、物理的、文化的、制度的、意識的「障壁＝バリア」の実態に迫り、人と人が共生する社会のあり方を考えるための視点を提供する。「ひと味ちがう“バリアフリーの教科書”」(帯より)。

けんかしたって仲直りできるんだよ

著：富田富士也／十月舎

定価：1,260 円(本体 1,200 円＋税)／TEL：03-5805-2530

■「10代を元気に生きる」ための“人生哲学”の第3巻。「コミュニケーション不全」のもたらすさまざまな悩みに寄り添い、長年にわたり助言と問題提起を続けてきた著者が、心のやわらかい10代に向けて、「言葉のつかい方」「態度の整え方」「物の見方・考え方」を、噛んで含めるように語りかける。「強がらずに人と仲良く暮らす“心の作法”」は、大人の心にも効く薬。「自分」に悩む人たちへ。



チーム医療・多職種連携の可能性をひらく

信念対立解明アプローチ入門

著：京極真／中央法規

定価：2,730 円(本体 2,600 円＋税)／TEL：03-3379-3861

■それぞれが、職務に熱心だからこそ起こる「信念対立」。対立の発生構造を解明し、問題を根こそぎ刈り取るための「信念対立解明アプローチ」の採用により、目標の明確化と共有化を実現。チームメンバーの相互理解を深め、連携可能性をひらく「解明師」の手法がわかりやすく紹介される。前書『医療関係者のための信念対立解明アプローチ』も参考に、チーム医療の可能性を最大限にひらこう！

看護の挑戦

フロントランナーの仕事に学ぶ

監修：北川隆吉／桐書房

定価：2,310 円(本体 2,200 円＋税)／TEL：03-5940-0682

■雑誌『季刊ナースングアイ』に連載された、戦後の医療・看護のフロントランナーたち14人へのインタビュー記事を再編集。看護学生、現役看護師の人たちに、仕事に取り組む諸先輩の真摯な姿勢とその歴史を生々の声で伝える。よりよい医療・看護の明日、よりよい社会を目指し挑戦を続けた彼らは、いまでもフロントを走り続ける。その言葉は示唆に満ち、エネルギーにあふれている。

